



発行所
全国曹洞宗青年会
 〒105 東京都港区芝2-5-2
 曹洞宗 宗務庁内
 発行責任者 桜井朝教
 編集責任者 務台孝尚
 TEL 03-3451-5411

迎春



年頭にあたり謹んで御挨拶申し上げます。
 会員諸師の御安祥と

全曹青会長 桜井朝教

加をいただきましたことは会員各師の深い御理解の賜と感謝御礼申し上げます。この法要で遺族の方々や実行委員会の皆様に変喜んでいただきましたことを一言申し添えさせていただきます。

増々の御活躍を心より御祈念申し上げます。
 昨年中は全曹青の諸行事に対しまして御支援、御協力を賜わりまして誠にありがとうございました。
 全曹青の最初の事業計画にはなかつたのですが、本年一月十七日の阪神淡路大震災一周忌法要、全国佛教徒慰霊行脚（全日本佛教青年会主催）及び神戸市長田区御蔵、菅原地区一周忌合同慰霊祭実行委員会主催で全曹青会法要主管の一周忌合同慰霊法要には時節柄御多用中にもかかわらず、のべ人数百二十名強の御参

また全曹青の花まつりキャンペーンとして、昨年に引き続き震災復興支援花まつりを四月六日土曜日に開催することが十二月の理事会に於いて決定されました。なおこの花まつりには地元でも慰霊祭同様に実行委員会を設けて受入れ準備を進めて下さっております。今回の花まつりは、地元のことはもちろんのこと震災遺児支援も考えておりますので、本紙開催案内をご覧ください、慰霊祭同様多数の会員諸師に御理解を頂戴し、御参集いただきます様お願い申し上げます。

昨年六月一日の総会に於いて承認されてから執行部もはや九ヶ月を迎えております。この間、各委員会に於いてさまざまな活動がなされております。

総会企画委員会に於いては授戒会、ボランティア、パソコン、青年教化の各研究部会が「大衆教化の接点を求めて」のメインテーマのもと活動しております。なお青少年教化研究部会は十二月の理事会の折に来年度より委員会に移行することが承認され、より活発な活動にむけ準備中です。

事業研修委員会では「禅文化学林」タイ開発僧ヘン・モニチェンダ師講演会を山口・長野の二会場で開催。広報組織委員会では曹青通信の発行、未加盟団体への働きかけ等を行ってまいりました。特に曹青通信に關しましては個々の曹青会員に対する重要な情報伝達の手段でありますので、そのつと全曹青の行事、各委員会、各研究部会の現状報告、管区大会等の報告等を記事にさせていただきます。単位曹青間の情報交換等に増々、曹青通信が御利用いただければ幸いです。

全曹青は創立以来のメインテーマ「大衆教化の接点を求めて」をスローガンとしてきましたが、大衆教化の

接点は各単位曹青及び個々の会員こそ存在しております。各曹青、各会員という交流を合流したものが全曹青であろうと思っておりますので、所信表明でも申し上げましたように会員個人個人が具体的に参加する「参加型集団」としての全曹青をさらに押し進めてまいりたいと存じます。会員諸師の積極的な御参加をお待ちしております。

最後に執行部役員が一丸となつて本年も取り組んでゆく所存ですので何卒、御支援、御協力を重ねてお願い申し上げます。

合掌

寺院用品・仏具・線香・念珠・記念品

香雲堂

〒462 名古屋市北区中味院2丁目711
 TEL (052) 901-8117
 FAX (052) 901-1040

平成八年迎春によせて



大本山永平寺貫首 宮崎 奕保

大妄想の極の出来ごとでした。たった一人の妄想に追随した人たちは、皆立派な学歴の持ち主でした。しかし、所謂学歴偏重による本当の智慧

を持たない知識のみの集団であり、哀れさと恐ろしさを知らされた事件でもありました。あの若者たちに本当の智慧が備わっていたら、こんなことはなかった筈です。

私たちは幸いなことに、法衣を纏い、佛飯をいただいております。小僧の時から師僧にきびしく育てられました。師の坐臥の一つ一つを真似

て育ちました。箸のあげおろし一つ真似から始まりました。人真似がやがて自分のものになっていきました。尊い口傳であり相続です。曹青会の若い宗侶諸兄も又、小僧に真似をされても恥じない姿を示さねばなりません。そこに佛法の相続の意義があります。

佛智慧の相続は坐禪の相続です。新しい年を迎え、正法興隆のため曹青会員諸大徳の一層のご精進と法体ご健祥を祈念申し上げ、ご挨拶いたします。

新年おめでとうございます。

昨年はわが国にとって未曾有の出来ごとが重なり合った多難の一年でした。一月十七日未明の阪神淡路大震災は六千人を超す尊い人命が失われました。文明の最先端を行く大都会も天地自然の大震の中に一瞬のうちに一大災禍してしまいました。あらためて犠牲になられた方々のご冥福をお祈りすると共に、目に見えぬ大自然への畏敬を忘れた人間の傲慢を反省する機会にしたいと思えます。

余震醒めやらぬ間に起きた地下鉄サリン事件をはじめとするオウム真理教による一連の事件に至っては、真理とは名ばかりの、自分たちさえ良ければ他はどうでも良いという誇

壽山
倍高

宮崎 奕保

京都曹洞宗専門店連盟加盟店
法衣と仏具

美 岸本法衣仏具店

〒600 京都市下京区仏光寺通室町西入
TEL・FAX (075) 361-4509
振替口座 01090-8-5775

随 處 作 主

大本山総持寺貫首 梅 田 信 隆



一九九六年子年の新春を迎え、皆様の御多幸を心より折念申し上げます。

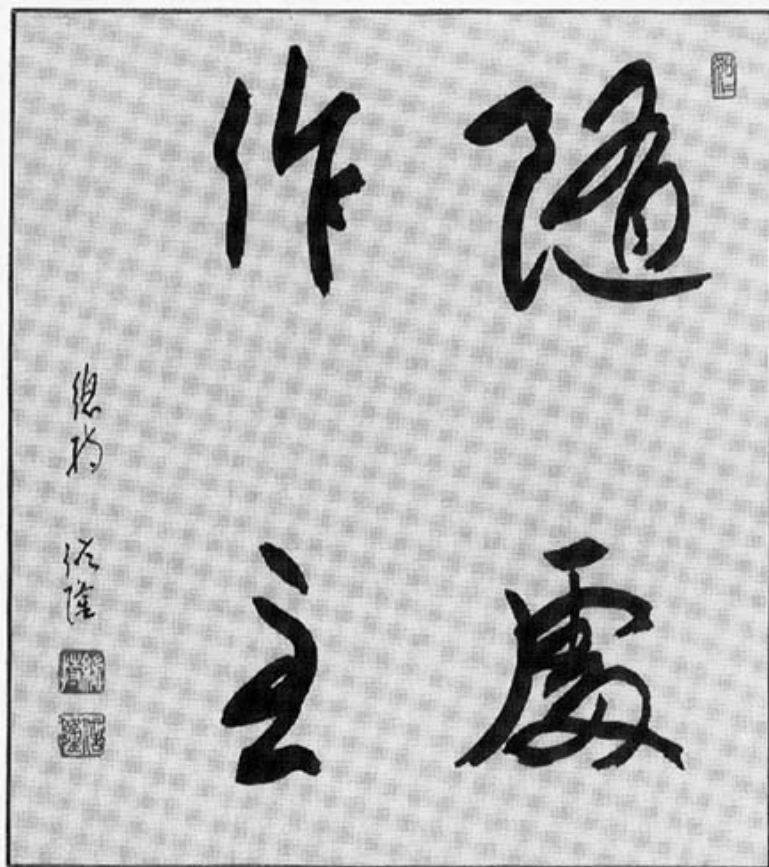
皆様のお力添えにより、小納、本年満九十歳の新春を恙無く迎えることが出来ました。

さて、おそらく昨年ほど難事の多かった年は、近年まれではなかったでしょうか。宗教をめぐる環境は、激しく変化致しております。こういった変動する社会の中で、常に社会の動向に的確に対応し、そして教化を適切に展開して行くのが、われわれ宗侶の務めであり、特に小納は、新世紀の宗門を担う青年会の皆様に期待致しております。「随處に主と作る」というお示しの如く、如

何なる時代・環境であろうとも、曹洞禅を教え広める者として、その時点に最も適した活動が円滑に実行出来る様に、切に御尽力を冀う次第で

あります。

全曹青会員の皆様の御健勝更に御活躍をお祈り申し上げ、年頭の御挨拶とさせていただきます。



檀信徒用御本尊、両祖像の

曹洞宗本尊釈迦牟尼仏奉讃会

奉讃会とは 曹洞宗檀信徒各位が、ご家庭のお仏壇の中心としてお祀りになる、ご本尊仏像・ご両祖像をご寺院を通じて頒布する機関です。昭和42年に両大本山で協議の上、設立されて以来、27年間、曹洞宗ご寺院の外護機関として活躍して参りました。この期間に全国の曹洞宗ご寺院を通じて、檀信徒の方々が奉祀されたご本尊仏は、15万體を超え、多数のお仏壇が位牌中心からご本尊中心に変わりました。

■奉讃会事務局連絡先

電話番号 03-3202-1231

曹洞宗本尊釈迦牟尼仏奉讃会事務局

住 所 〒162 東京都新宿区戸山1-4-1

郵便宛先 〒162 東京都牛込郵便局私書箱112号

迎 春

宗務総長 大竹明彦



新しい年を迎え曹洞宗青年会の発展と会員各位のご活躍を祈念します。

私は日頃曹洞宗興隆の鍵は、青年宗侶の皆さんの双肩にあると信じています。したがって常に活動を注意深く見守ってきました。昨年の阪神淡路大震災におけるめざましい活躍は頼もしい限りでありましたし、その他多くの活動も宗門の未来を担うにふさわしい内容であると、高く評価しています。

大竹内局はいま「グリーン・プラン」を推進しようとしています。この計画を植樹運動と混同しないでいただきたい。地球環境を始め社会環

境、家庭環境等全ての環境問題を対象として人権・平和問題とリンクケージして対応し、改善することを目的とし、宗門の教義にもとづき信仰の力によって運動化していこうとするものです。ぜひとも曹洞宗青年会が推進軸になってくださることを期待しています。伝統宗教といわれるわが宗門も、世界的な人類の課題に取り組むときが招来しています。そのパイロット役を強く願って止みません。

教化部長 佐藤良彦



全曹青が結成されてより二十年が過ぎ去りました。思えば、緑陰禅の集いが教化運動として活発に展開され、これの連合組織として、新しい教化活動を模索してのスタートでありました。全曹青のキャッチフレーズ——大衆教化の接点をもとめて——はそのような意味からのことでありました。

以来、歴代の会友をはじめ役員の方々の努力により、その時々の青年会員によって、さまざまな事業が遂行されてきました。それはそれとして評価されるべきでありましょう。しかし、昨今の阪神淡路大震災時の青年宗侶の活動は、本当にすばらしいものでした。不惜身命の奉仕活動は多くの人達に感銘を与え、共生の実感を味わっていただいたことだと思います。

これからの布教は、より一層、対社会に向けての実践活動だと思えます。そういう視点からの全曹青であって欲しいと願っています。

曹洞宗専門
法衣・仏具
梅花流法具

ころも
衣

株式会社 細野福藏商店

〒604 京都市中京区高倉通御池南入
Tel 075(221)1455(代) FAX 075-221-7811
フリーダイヤル 0120-1455-07

阪神・淡路大震災一周年忌法要並びに 御菅地区合同慰霊祭厳修

去る一月十七日は昨年の丁度大震災が起こってから一年目に当る。

我々全曹青のメンバーも一周忌法要、合同慰霊祭に参加するべく全国より参集した。

まず法要の前日、すなわち一月十六日は神戸市兵庫区の八王寺様の協力を得て、拝宿をお願いした。約五十数名の会員の皆様が、そこに一夜

を共にして明日の打ち合わせを兼ねて親睦会を開いた。

現地、神戸には車を利用して来たのであるが、まだ震災の傷跡が至る所に散見し復興には大部時間を要することが伺われた。

一月十七日

朝四時に起床。八王寺様で小食を頂戴し、その後略朝課（諷経一座）を行い、五時に中央区西光寺（浄土真宗）へバスで移動。朝八王寺に到着した会員を含めて総勢およそ九〇名になった。

全日本仏教青年会主催による全国仏教徒慰霊行脚が、ここ西光寺より始まるのである。寺に到着して直ぐに主催者の一員である副住職の話を聞き、丁度昨年震災の起こった午前五時四七分に全員黙祷。

午前六時より行脚開始。中央区の中を行脚する。我々全曹青の会員と共に全日仏青のメンバーとでおよそ百名前後となっていた。朝まだ暗かったが寒さはさほど感じられなかった。

途中、浄土真宗と日蓮宗の二ヶ寺で小休止をし、一時の足休めをした。

午前九時三〇分行脚終了。約三時間の行脚であった。街頭のあちらこちらではテレビ局の一月十七日の催しの中継の準備がせわしなく行われていた。あるいは路傍で我々の行脚の姿を見守っていた人々たちも数多く見受けられた。

午前十時三〇分より時宗、真光寺様にて全日仏青主催による一周忌合同慰霊法要厳修。全国より参集した若き僧侶（宗派を問わず）は約七〇〇名ほどであったという。その他一般の人々を含めると千人近い人々が法要に加わったのである。参集した全員が読経をし、焼香をして亡くなられた方々のご冥福を祈った。

法要の後中食。

午後一時三〇分より長田区御蔵・菅原地区一周忌合同慰霊祭実行委員会主催、全曹青主管の下、御菅地区一周忌合同慰霊祭が厳修された。全日仏青の方々も約二〇名ほど参加



し、我々全曹青の会員はおおよそ百二〇名ほど全国より参集した。

その時、菅原市場の仮設会場は遺族の方々をはじめ関係者各位で埋め尽くされるほどの人数であった。法要はしめやかなのうちにも厳肅に行われたのであるが、献花・焼香に絶えることのない人々が次から次へと行い、法要は三時近くまで続いた。長くもあり短くもあつた約一時間半の中に一年の月日の如何に速かなることを感じ、生命の尊さを感じざるにはいられない。



御菅地区一周忌合同慰霊祭式次第

- 一、遺族・親族着席
- 一、来賓・代表者着席
- 一、殿鐘三会 僧侶着席 両班入堂
- 一、七下鐘 導師入堂
- 導師、全曹青会長 桜井朝教
- 一、開式の辞
- 一、主催者挨拶
- 一、黙祷
- 一、追悼文拝読
- 一、鼓鉢三通 導師献花、随喜寺院献花（全日仏青・両班・大衆の順）



献花中御詠歌独詠

詠讚師、特派師範 西村真典

一、拈香法語

一、読経 世尊偈、御詠歌、舍利

礼文三返

読経中、遺族・一般参列者献

花、焼香

詠讚師はこの間独詠

一、回向 導師俗名読み込み

一、鼓鉢三通

一、遺族代表挨拶

一、主催者謝辞

一、導師退堂

一、閉式の辞

法要の後、家の崩壊した至る所に献花してある前で、会員各位が読経し香をたむけて回った。

また、この一周忌法要に合わせて、山口県下関のふぐ連盟（会長、平尾光司）の皆様によるふぐ鍋の五、〇〇食分の炊き出しも行われた。

さらにはSVA（曹洞宗国際ボランティア会）によるバザーも行われ、盛んに支援がなされていた。

しかし、一年が経過したにもかかわらず、復興が完全になるまでには当分時間を要する。ここにこの度の一周忌合同慰霊祭実行委員会がまとめた御菅地区の現在の状況を添えておく。



御菅（みすが）地区は、御蔵通・菅原通をあわせた地域の呼び名。

菅原通3・4丁目の、菅原商店街・市場が地域の台所となって発展してきた個人経営の商工業者の多い地域であった。

一年前の阪神大震災で、この古い下町は壊滅的な被害を受けている。木造で古い長屋や文化住宅、個人住宅がぎっしりと並んでおり、家屋の激しい倒壊があつて多くの住民が家屋の下敷きになり、そこを火災がおそつた。声が聞こえてくるにも関わらず助けることができなかつたという住民がたくさんいる。結果として一〇八名の方がなくなつてしまつた。

（96・1・15現在）

特に現在区画整理事業のかかつている御菅3・4丁目地区、御蔵5・6丁目地区の住民は、ほとんどなにも取り出せないまま、すべてを失つたという人々である。そういった状況の中で、難しい街づくりの問題に取り組まなければならない。

現在どれほどの住民が地域に戻つてこれているかは定かではないが、半数にも満たっていないのが現状である。更地はあちこちに広がり、住宅が建つていても仮設の店舗で、住居は郊外の仮設住宅や他の地区にあ

菅原地区の震災前の世帯数と人口 (平成2年10月国勢調査より)

	菅原1~7	御蔵1~7	合計	北町1~3	合計
世帯	582	919	1,501	123	1,624
人口	1,543	2,333	3,876	252	4,128

菅原市場・商店街の店舗数

	市場	商店街
震災前	32	35
震災後	22	14

「三陸はるか沖地震、阪神大震災と云う未曾有の災害、オウム真理教に関する一連の事件、さらには多発する銃器犯罪、金融不安等、世情はさらに混迷の度を深めてきた。この混沌とする状況に、大衆の心は真の拠り所となるべきものを求め、新たな模索を始めた。

我々青年宗侶はその問いかけに応えなければならぬ。

時代は、「大衆教化」と云う常用語

記念式典の中で東北曹青が会員の活動を顕彰し、支援する「応援します」の顕彰の式が行なわれました。この後、「今、宗教の社会性を考える」というタイトルで、辻淳彦老師より講演を賜りました。また、福島曹青30周年を記念し、ポール牧氏の記念講演も開かれ、多くの会員、一般の方々も聴講していました。引き続き行われた懇親会では、

るといふ人も多い。いまだ多くの住民がちりぢりになって生活している。最後になりましたが、今回の阪神、淡路大震災一周忌法要ならびに御菅地区合同慰霊祭に際しまして多大なるご支援、ご協力を賜りました兵庫区の八王寺様、また御菅地区一周忌合同慰霊祭実行委員会様、全国の会員の皆様に厚く厚くこの場を借りて御礼申し上げます。

去る平成七年十一月六、七日の両日に亘って、福島市福島ビューホテルを会場として行われました。参加会員およそ一三〇名余になりました。

第20回東北地区曹洞宗青年会 東北地方集会、福島大会開催

に表されている教化者サイドだけの見解を再考すべき時に来ている。今我々はこの間に集い、「宗教の社会性」を認識し、社会的レベルの宗意安心の確立を目指して、さらに大衆の要望に応える活動を展開することを誓い、本大会の決議文とする。」

という決議文を採択し、次期開催の秋田県への伝達をし盛会の中に大会が円成した。

運輸大臣登録一般旅行業代理店業第6116号
宮城県知事登録国内旅行業第155号

ピーエス観光グループ全国20ネット



(株)ピーエストラベル

洗えるきもの 仙台市青葉区昭和町2-23
(ノーグスアーバン203)
みそのや東北代理店 TEL 022-234-8601(代)
FAX 022-234-8610

墓碑・記念碑 設計施工 全優石加盟店、確かな技術と信用の店

かみと
上戸石材店
有限会社

代表取締役
上戸 末治

各寺院、宗派御用達店

かみとすえじ
上戸末治石材店です。

本社・工場 二戸市金田一字上田面180-1 (二戸バイパス沿い)
☎ 0195 (27) 2411・FAX (27) 2413
石の店かみと 二戸市金田一字上田面181-1
☎ 0195 (27) 4649・FAX (27) 3704

盛岡店 (柳石の上戸 岩手郡滝沢村字牧野村1011-36
☎ 0196 (84) 2238・FAX (87) 1904
青森店 上戸家石材 青森市駒込字月見野23-1
(柳)上戸石材商事
☎ 0177 (41) 4732・FAX (41) 7725

紙上研修「青年僧に望む」
掲載にあたり

事業研修委員長

荒井裕明

阪神・淡路大震災、宗教法人「オウム真理教」が起こしたさまざまな重大事件、バブル経済崩壊後の経済不況、いじめによる自殺等、今日の社会情勢は殺伐とし、混沌としています。

この様な中で、いま各界の方々には宗教、とくに仏教あるいは僧侶に対して、何を求め、何を期待しているのでしょうか。私たち若き僧侶の関心を抱くところです。

そこで、識者の皆様方に「青年僧に望む」と題しまして、忌憚のないご意見を頂戴して行こうという事になりました。ご執筆いただく方々は、突然でしかも勝手なお願ひにもかかわらず、心良く引き受けていただいております。沢山の貴重な意見ですので、必ずや会員の皆様方の布教、教化の一助になりえるかと思えます。どうぞご期待下さい。

第一回は信州大学教授、渡辺時夫先生からの熱いメッセージです。

「青年僧に望む」



信州大学教授 渡辺時夫

一、はじめに

日本人の道徳への関心が衰えた、と言われて久しい。三十二年間にわたる筆者の教え子達の様子を見て、若者の道徳観念は薄れる一方である。この責任は果してどこに、誰に帰すべきであろうか。学校教育が責を負うべき部分があることは論を待たない。しかし、あくまでも一部分であり、道徳的観念に関するかぎり、家庭を含めた社会こそもっと大きな責任を負うべきだと筆者は考えている。道徳観念や価値感、母語の習得と同様に、就学前の子供時代に、理性によらず体で身につけてしまうものだからである。幼い頃に習得した方言は学校教育ではなかなか修正できないことは経験的に実証されている。日常的に触れることが標準語であれば標準語が、津軽方言であれば津軽のことばが自然に習

得されるのである。社会の教育力の強さは恐ろしいほどである。

経済的には丸々と肥った日本社会も、精神的には丸々と痩せた日本社会へと変わっている。アメリカも病める国と言われている。病める国という点で日米両国は似ている。しかし、アメリカ社会と日本社会とははつきり違う点も認められる。それは社会における宗教の役割である。

二、青年僧侶に訴えたいこと

筆者の経験では、日本人に会うと「あなたの宗教は何か」と質問するアメリカ人が多い。日本人の若者の反応は画一的で「私には宗教は無い。必要でもない」というものである。なかには「仏教」と応える若者もいるが「キリスト教のバイブルに相当するものはあるか」と聞かれるとだいたい答えに窮してしまう。

「経典」と答える者もあるが、「一節を言ってみなさい」と言われてすら言える日本人はまずいない。恥ずかしい限りであり、アメリカ人にとっては驚きである。アメリカ人

印刷のトータル・プロダクト

三協美術印刷株式会社

本社

東京都品川区北品川5-7-17
TEL 03 (3443) 6781(代)
FAX 03 (3444) 1626

佐倉工場

千葉県佐倉市大作2-12-1
TEL 0434 (98) 3711(代)
FAX 0434 (98) 3714

といっても様々で、一般化はできないが、幼い頃に教会とのコンタクトのある人はきわめて多い。しかも家族ぐるみで体験している。このことがアメリカ社会の精神文化(道徳観念)と密接に結びついていると思う。家族全員で牧師さんの説教を聞き、その後様々な出席者と言葉を交わす機会を持つことは、人間の成長にとつてたいへん大切なことだと思ふ。日本人の子供達はどうかだろう。アメリカの子供たちが教会に接すると同じように仏教や寺院との触れ合いを持つ子供達は我が国にはほとんどいない。最近、ハイテク文明が発達し、すべての人間が時間に追われ、ゆつくり自分や他人のことを考えるゆとりがなくなっている。それだけに幼少の頃から「心」について考えるチャンスが与えられるということはますます必要になっていると思う。法事などで僧侶の説話に接すると、しみじみと人生について考えさせられることがある。そんな時、この話を子供にも聞かせたいという衝動にかられるのは筆者一人ではないと思う。

儀式に出席するだけで良しとせず、もつと積極的に仏教教育にコミットするべきだと考える。この点アメリカの教会関係者は、個人としても団体としてもたいへん努力していることを忘れてはならない。筆者はハワイに一年間生活したことがある。ハワイには仏教のお寺がたくさんある。恐らくキリスト教の影響と思うが、日曜ごとに礼拝があり、幼稚園児や若者も大勢出席していた。僧侶の説話を聞き、聖歌を歌う。礼拝が終わると茶菓が用意され、若者の社交の場にもなっていた。このような制度があるためにハワイの若者にとつて寺は心理的にたいへん近い存在になっている。日本の子供達にもこのような機会が欲しいと思ふ。道徳観念は、このようにして自然に身につけるものであって、学校の道徳の時間などでい教え込むものではない。

このような制度を実現させるためには青年僧侶の皆さんの積極的な姿勢が欠かせないと思う。僧侶は寺院の外に出て、社会の中にもつと入っていく必要があるのではないか。寺院や墓地のように物的には仏教の存在が目につく日本の社会で、僧侶、特に青年僧侶の存在感が小さ過ぎるよう思う。もつと社会の表舞台に出て欲しい。ただ、そのためには僧侶自身の教養と品格が求められていると思う。学校の教員の教育力低下が話題になっているが、このことは僧界にも言えるのではないかと思う。一五〇〇年におよぶ日本仏教の精神的遺産というものは質・量ともにたいへんなものだと思う。この「遺産」をより多くの日本人が享受できるようにするには僧界、特に青年僧侶の皆さんは何をすべきか真剣に考えて欲しいと思う。自らを磨き、若者を引きつける魅力を培ってください。病める日本社会を健全な社会へと再建するためには宗教、特に仏教の果たす役割は大きく、青年僧侶の皆さんの奮起を期待したい。

(長野県第一青年会)

二十周年記念誌「進一步」より

〈著者プロフィール〉

*信州大学英語科主任教授(教育学部)兼信州大学付属小学校、中学校、養護学校長専攻は英語教育学。著書に『創造力に取り組む英語教育』『新しい英語科授業の創造』(桐原書店)、『インプット理論の授業』(ニュー・クラウン) (文部省検定教科書、三省堂)
長野県小諸市在住(曹洞宗全宗寺檀徒)

寺院用佛壇・佛壇・製造販売
曹洞宗梅花流法具販売指定店



ほう 光

本店・工場
新川越店
高崎営業所
長野営業所
〒940
〒951
〒350-11
〒370
〒380

長岡市高畑町617番地
新潟市関屋大川前1-11-2
川越市新宿町1-23-2
群馬県高崎市江木町1179-2
長野県長野市稲葉1980-1

☎(0258)33-5644
☎(025)233-4493
☎(0492)44-7741
☎(0273)24-3721
☎(0262)22-3811

連載

やさしい仏教



駒沢大学教授 吉津宜英

どうも優柔不断で、はっきりしないところが玉に瑕だ」ということにもなにかねない。

私がここで「やさしい仏教」ということを提案する場合の「やさしい」とは、「分かり易い」という内容と「親切である」という意味との両義を含んでおり、どちらかといえば親切を表にして、その裏に分かり易さを含んでいるような仏教を考えたいのである。その場合も、確かに「やさしい」が優柔不断のような意味を持つていることを押さえておいた方が良いでしょう。「やさしい」という言葉にはそれだけの広がりがある。

「やさしい」というと、皆さんはどのようなイメージを思い浮かべられますか。私は、昨年の五月に駒澤大学の仏教学会において「やさしい仏教」と題して発表しました。その発表の前にベルギーから来ている大学院留学生のミカエル君に「やさしい」という言葉で、どんな印象を持ちますか」と尋ねてみた。ミカエル君はその長身を折り曲げるように、首を傾げて、ちよつと考え、「そうですわね、あまりいい印象じゃないんじゃないですか、優柔不断とか、」と答えてくれた。なるほどと、私は思った。「あいつはやさしい奴だ」というと、「あいつはいい奴だが、

「やさしい」ということに対して、私は「厳しい」と「甘い」とを対置する。私達はこれらのやさしさ、厳しさ、そして甘さの三つのあり方、約めて三態を所有しているのではないだろうか。何かに厳しい人が、他のものには甘い。嫁さんには鬼のよ

うに厳しいおばあさんが、孫にはまるで別人のように、猫可愛がりのように甘いことがある。

ここで、一つのエピソードを紹介しよう。テレビで活躍した逸見さんが癌との壮絶な闘いの末に亡くなった。逸見さんを偲ぶ番組で、ニュースキャスターの田丸さんが、「逸見さんは、自分に優しく、人に厳しい方でしたね」と言い、周りの出演者がぎよつとなつたのを見て、田丸さん自身もびくくりして、「間違いました、逸見さんは人に優しく、自分に厳しい方でした」と言い直したそうである。これを聞いて、私は案外田丸さんが言つたあたりは人間の本性を衝いているというか、決して悪い表現でもないのではないかと思つたのである。

私など、自分にも甘いし、人にも甘い、いや、時としては人には本当に厳しいこともあるなあとと思う。このやさしさと、厳しさと、そして甘さとを、自分と他人とに配当して、「自分に優しく、人に優しい」、「自分に優しく、人に厳しい」、そして「自分に甘く、人に甘い」などと、四句分別ならぬ、九句分別が成立する。皆さんは、どのタイプをよく發揮しておられますか。

達用御山本大両
店指定販具法流花梅

品記用答贈・具仏神・嚴莊・束装・衣法



株式会社
梅金商店

梅金商店

〒460 名古屋市中区大須三丁目39番33号(大須交差点東北側)

TEL (052) 241-0901 (代表)

FAX (052) 241-1904

さて、ここで、やさしさ、厳しい、そして甘さについて、もう少しその内容規定を試みよう。私は、先にも述べたように、これらの三態は私たちの中に内在すると共に、物事にもこれらの三態があり得ると思つてゐる。そして、これら三つの中では、厳しさと甘さを克服して、やさしさを出来るだけ開発する努力をして行きたい。

まず、やさしさとは総じてものを大切にして、ものを活かす姿勢である、ものを見護る慈愛の態度である。厳しさは、ものを苦しめ、ものを殺す、いじめる態度である。そして、甘えは、ものを腐らせる、無関心に放任する態度である。

先ほど、私は「自分に甘く、人に厳しい」傾向があると述べた。どうも、自分に対してはまあこれでいいやという判断が出やすく、人には必要以上に細かくチェックする傾向がある。もっと、自分と人とを同じように対対に見て行き、共に大切にすることを身につけ、自分をもっと励まし、活性化すると共に、人をも元気づける努力をしなくてはいけないと反省している。

ところで、仏教にも「やさしい仏教」、「厳しい仏教」、そして「甘い

仏教」という三態があるのではないであろうか。やさしい仏教とは、これまでのことからも窺われるように、出来るだけ人間を大切にし、命を活かして、自分自身への限りない自覚を通して、私たち個人の自立の道を示すのである。

近時、仏教と自称しながら、思ひ上りの極地を謳歌し、その点では大いに「甘い仏教」の正体を晒しつつ、一方では人の命を傷つけ、危め、死に至らしめても良いという虐めの極地のような「厳しい仏教」の事例を私たちは目の当たりにした。

しかし、私たちは自分の本性として、先の三態を持つていとすれば、三つの仏教形態の中で厳しい、甘いという二つのものとも、決して無縁である、無関係だと言つて済まされないのではないであろうか。

ある場合には、修行と称して、相手の機根も心も身体も無視して、「厳しい仏教」を押しつけたたり、ある時には、自分の都合の為に、御利益を強要して、「甘い仏教」に酔いしれていることは無いであろうか。

私は、厳しさと甘さを全く否定し、やさしさ一元になることを主張しようとしているのではない。従つて、厳しい仏教や甘い仏教を否定し

て、それらは「仏教にあらず」と糾弾したりしようなどは断じて考えていない。そんなこと出来ないし、またやるべきでもない。

むしろ、私たちが、やさしさを自覚すればするほどに、かえつて自分の厳しさと甘さが目についてくると言うところが大切だと思つてゐる。

やさしい仏教の道は悠久であるが、厳しい仏教や甘い仏教の構造も根が深いのである。それらを「非仏教」と断罪するよりも、むしろそれらの仏教からの無限解脱、限らない自由の獲得が必要である。

出来るだけ、自分を活かし、人も活かそうとする「やさしい仏教」は、私たちに「厳しい仏教」や「甘い仏教」に停滞する最終解脱など無いのだ、限らない無上菩提への道のみがあると教えるのである。

〈著者プロフィール〉

一九四三年生まれ、広島県出身

現在、駒沢大学仏教学部教授

文学博士、専門は華厳教学

現住所、〒154 東京都世田谷区

太子堂2-20-4

主要著書、「俱舍論索引」三卷(共著)

(大蔵出版)、「華嚴一乗思想の研究」

(大東出版社)、「華嚴禪の思想的研

究」(大東出版社)、「縁」の社会学(東

京美術)、その他数多くの論文がある。

〈梅花流法具指定販売店〉

法衣・袈裟・打敷・寺院莊嚴具・京仏壇・京仏具



株式会社 安藤

〒605 京都市東山区古門前通花見小路東入ル

法衣部 電話(075)541-8161番代

仏具部 電話(075)541-8165番代

贈答品部 電話(075)541-8168番代

FAX(075)525-2070番

東京店 〒105 東京都港区芝2丁目15番2号

電話(03)3454-3232番代

FAX(03)3454-3251番

福岡店 〒812 福岡市博多区上呉服町12-7

電話(092)291-2143番代

FAX(092)291-2144番

本社

禅文化学林

へん・ちん・エ・ン・ダ師講演録

長野会場・抜粋

先ず、講演を始めさせていただく前にカンボジアの仏教者を代表しまして、そしてカンボジアの僧侶を代表しまして、第二次世界大戦中に原子爆弾によって苦しめられた広島、長崎の人々、そして今日においても様々な苦しみよりあえいでいるすべての人々のために、お祈りを捧げたいと思います。

読経

ありがとうございます。

ここにお集まりの僧侶の皆様、そして在家の兄弟の皆様、今日は私をお招きくださいましてどうもありがとうございます。まず最初に紹介をいただきました有馬老師に対して深い感謝の意を表したいと思えます。有馬老師がお話になりました日本の過去の時代における仏教と地域社会の関係についてのお話は大変感銘を受けました。昨日ですけれども、山口県のお寺でお話をさせていたただいた際にはほとんどの聴衆の方は農

民の方でありました。そして今日お招きいただいたときに、ほとんど多くの聴衆の方は仏教の僧侶の方というふうにお見受けいたしております。ですから今日のお話は仏教の社会的役割、もしくは僧侶の社会的役割ということに関しましてダイレクトに話しを絞ってすすめてゆきたいと思えます。

私がボランテアということにこだわるのは次のような理由からです。多くの人々は仏教とは平和の宗教である。もしくは仏教は慈悲の宗教である。仏教は科学的な智慧の宗教である。といった言い方をします。ですが私に言わせれば仏教とはボランテアの宗教に他なりません。私どもの仏陀の生前の物語として次のような話が伝わっております。ゴータマブツダが生を受ける前世に於いて仏陀は瞑想をする遊行者でありました。その時に仏陀は村々を歩いておりまして、そして高いところ

から下の様子を見たわけです。

その時、多くの人々が一生懸命に働いているのを見て、何をしているのだらうと思つて下に降りてきました。人々は道路を造っていました。人々に「なぜ道路を造っているのですか？」と尋ねますと、「これは仏陀がいらつしゃるのでお迎えするために道路を造っているのです」と答えました。その当時まで道路は完成していませんでしたが、その遊行者は完成していない道路に横たわったんです。なぜそういうことをしたかという、その完成していない道路に未完成にもかかわらず仏陀と五〇〇人の弟子達が来てしまったのです。それで道路が完成していないので何とかしなければならぬと思つたときに、その遊行者は自らその未完成の道路に身を横たえてその上に仏陀と五〇〇の弟子達が通るようにできたというわけです。その時に仏陀と五〇〇人の弟子達を通して、そ

の遊行者は阿羅漢の境地に達することができたわけです。即ち獨覺の境地に到ることができたのですが、阿羅漢の境地に達すれば彼自身は涅槃に到ることができるわけです。ですがその時に遊行者は考えました。そうではなくて自分は正等覺者にならなければなりません。即ち本當の仏陀になつて世界の人々を救うべきであると考えました。

このお話が本當の意味でのボランテアの仕事と言えるのではないのでしょうか。即ち自分自身が悟りの境地に達する、人格として目覚めるということではなくて、自分自身は苦の中に自ら進んではいつてゆく。まさしくボランタリーに自らの意志によつて苦の中に進んではいつてゆく。こういった考え方が仏教的なボランテアというふうに見えるのではないのでしょうか。

次に大乘仏教のお話をしたのですが、カンボジアにおきましても9世紀から11世紀には大乘仏教が大変栄えました。特に觀世音菩薩の信仰が栄えました。では、觀世音菩薩はどのような教えを説いたかというところ「もし一人でも地獄に残っているのなら私は決して涅槃の境地には到らない。」と觀世音菩薩はおっしゃ

いました。こうした考え方こそ本当の意味のボランティアと言えるのではないのでしょうか。

ここまでお話をしてもう皆さんおわかりだと思います。仏陀もしくは僧侶の役割というのはボランティアである。もしくは自発的な行為である。これはもう疑いもない事実ではないでしょうか。僧侶は在家の人々、もしくは市民に対して何も見返りを期待しません。何物も欲しようといたしません。僧侶は人々に対して法を説き、そして人々を目覚めに導いて人々の苦をとりのぞくのです。これが僧侶の役割です。

仏陀は僧侶に対して次のようにいいました。「僧達よ、寺を出て人々の所へゆきなさい。そして法を説き人々を救いなさい。」それは仏陀が説いた僧侶としての義務であり、それは後々の僧侶の戒律となりました。仏陀は悟りを開いて六〇人の弟子を得たときに、六〇人の弟子達に對して次のように言いました。「僧侶達よ、村々のそして街のコミュニティへ行き、そして人々の幸福のために法を説きなさい。そして世界の人々を救いなさい。すべての人々そして神々に対して幸福をもたらすようにしなさい。僧侶達よ別々の道

を歩みなさい。あなた達は法を説くときに最初も素晴らしく、そして最もも素晴らしく説きなさい。僧侶達よあなた方は日々の生活に於いて本當の眞の意味での仏法を実現するようになさい。そしてすべての生きとし生ける物、それがたとえ単なる塵であつてもおなじことでありまして苦しんでいる人々に対しても、そうした人々を助けるようになさい。というのも、たとえそのような人々であつてもすべての生きとし生ける物というものは、法に導かれるといった存在であるからです。」と仏陀は六〇人の弟子達に説きました。

今、私が紹介いたしました仏陀の話には3つの重要な点がございます。1番目には街や農村に出かけて行きなさいということでありまして、お寺に留まって昼寝をしているだけではだめだということでもあります。2番目には本當の意味でのブラマンチュアリーダンマ即ち日々の生活に於いて本當の仏法を實踐し、人々の生活を良くする。これを實踐することでありまして、3番目には、法を聞かなければ平和は実現されない。即ち、もし僧侶が街や村に出ていつて

も、そこで僧侶が法を説かなければ平和は決して実現されないということです。この3番目のことは別の言い方をすれば、たとえ法を説いたとしても、もしそれがお寺の中だけで法を説くだけであつたらそれはほんのわずかな人々しか救えない。それはお寺の中にだけいるほんのわずかな人しか平和に導けないということでもあります。

「開發」という言葉は仏教の言葉の中にも見受けられます。南伝大藏經の中に開發という言葉がございます。仏陀が言つたように僧侶は開發という考えを人々の中に教えてゆかなければなりません。

仏教における開發という言葉は、仏教用語では「バワナ」と言います。その仏教における開發バワナには4つの意味がございます。1つは「ガイヤバワナ」即ち物質的開發。人々が健康であり充分な食べ物を得られ、肉体的にも健全である。そういった開發であります。ただいま僧侶に關しまして、托鉢をするわけですね。朝歩いて托鉢をして食事をするわけです。これは歩く瞑想ですけれども、この事は即ち自らの足腰、身体を鍛えて病気になるないようにするという意味もあります。これもやはり物

質的な意味での開發であります。普通の言葉で言えば良い運動をして身体を鍛えるということになりますよ。うか。

2番目に、仏陀が説いたバワナ開發の考えとしては、「シーラバワナ」即ち道徳とか倫理に於ける開發であります。さらにこのシーラバワナはモラルに於ける開發においても4つの要素がございます。1番目は、目耳鼻等の感覚を適正にコントロールすることです。即ちそうした感覚から入ってくるものに対して、感覚から人々は世界を理解するわけですけれども、その時にその感覚の作用によつて世界を過度に幸せなものとして理解したり、もしくは過度に不幸せなものとして理解する。そういったことがないように我々の感覚をコントロールすることです。

もちろんこうした感覚によるコントロールというのは中道を歩むべきなのですが、残念なことに今日においては、在家の人々にあつてもまた僧侶にあつてもより物質主義的な方向により片寄つていよう思われ

ます。2番目は、法もしくはルールに従う、もしくは戒律に従うことでもあります。たとえば我々の上座部仏教に

於いてはパティーモツカ、具足戒を守っておりませぬけれども、それは二七あります。大乘仏教に於いても戒律はあると思いますが、そうした戒律を守って我々は正しい生活をする。これがモラル、倫理の開発の2番目の要素であります。

そのモラル道徳、倫理の開発の一番の根本、一番の基本になるのは五戒であります。即ち殺すなかれ。盗むなかれ。淫らな行いをするなかれ。嘘をつくなかれ。酒もしくは麻薬に溺れるなかれ。この五つの戒律がモラルもしくは倫理の開発の最も根本にあるものであります。

3番目の倫理道徳の開発に関する問題としては、他人の所有物、他人の財産、他人の仕事職業に対して配慮するという事です。即ちただ単にまともな仕事に就くとか、ちゃんとした合法的でない仕事に就くとかいうことだけではなくて、仕事がない人に対していかに仕事を与えてゆくか、これも3番目の要素に含まれます。ですからただ単に良い仕事に就きなさいとか、いい仕事をしなさいと教えるだけでではなくて、実際に彼等が仕事に就けるようにしてあげることが大切なんです。その具体的な事例といたしまして、曹洞

宗国際ボランティア会のやっておられますハンディクラフトのプロジェクトがあげられるでしょう。ハンディクラフトを販売することによって曹洞宗国際ボランティア会は職業をつくっているわけですし、またカンボジアのバタンバンにおいても陶器製造の職業訓練を行っております。こういった曹洞宗国際ボランティア会の活動こそが私ですべて述べました道徳的倫理の開発に於ける、とりわけ職業の観点に関する具体的な事例といえるのではないのでしょうか。

道徳倫理の開発に関する4番目の点としましては、自分自身そして他人がいかに良い消費をするかという点であります。たとえば自然の物を消費するという場合を考えたとき私たちが考えなければならぬことは、一体何のために消費するのか。我々は消費をしすぎているだろうか。私たちの消費は本当に仏法の実践の為の消費なのだろうか。そういったことを考えなければなりません。仏教の僧侶の戒律の中に食事は1日2回ということがあります。食事を食べ過ぎれば我々は怠惰になり、また瞑想もうまくできなくなるわけです。この食事を2回とるとい

うことは良い消費、即ち物を節約する、合理的に経済的に使うということとです。物事はただお金があるからといってただ単に消費すればよいというものではありません。

次に3番目の開発ですが、これは仏陀が「チッターパワナー」精神的な開発と呼びました。この精神的開発というのは、いかに自分自身を高めてゆくか、自己自身を変えてゆくかということとあります。即ち仏教でいうところの四無量心、慈・悲・喜・捨の教えであります。ここで申し上げます慈悲の精神とは自らの心を開発しまして、いかにして他人の苦しみを自分のものとして感じるか、いかにして他人の苦しみを分かち合うかということに他なりません。

喜の心というのは、もし他の人達が喜んでいたら、自分はそれに関して嫉妬心をいだかない。幸せな人に対しては、どうぞ幸せであってくださいというふうに謙虚な気持ちになってそれを妬んだりしないということとあります。

捨の心というのは、自分がしたことに対して見返りを求めないということとです。たとえば自分が良いことをして良いことをしてあげた人から喜

ばれなかったとしてもそれに対して怒ったりしない、自分のしたことに対して決して決して何者も見返りを求めない。これが捨の心であります。

4番目の開発、これは「パンヤーパーワナー」即ち智慧の開発であります。これは即ち現実社会に對して我々は現実社会に向かい合う時に様々な執着を持って見るわけです。そういった執着から我々の心を自由にする。これが4番目の智慧の開発です。仏教でいうところの開発とは一言でいうなら自分自身を開発すること。そしてそれを通じて人々や社会を開発してゆくことであり、仏教の実践に他なりません。

こうしたことを理解することはなかなか難しいかも知れません。というのも、長い間仏教というのは個人レベルの、個人の宗教というふうで考えられていたからです。私はここで皆さんに仏陀が悟りを開いた後に言ったことを紹介したいと思います。「私は仏陀になった。それは私の兄弟姉妹そして家族を助けるためである。そして2番目に世界を助けるためである。私は仏陀になった3番目にそれは自分自身を助けるためである。」確かに経典の中では自分自身を助けることが第一であると述

べています。ですけども自己を助けること、これは他人を助けることに他なりません。仏陀は長い長い経験と歴史の中でそのことを学びとりました。即ち他人を助けることが自分を救うということであり、即ち他人を助けること他人を開発すること、即ち自分自身を自覚めさせること、自分自身が悟りに到ることに他なりません。ですから仏陀が言ったことは、自分自身を悟りに導くためにも先ず家族を助け、そして世界を助けて行くべきだということであり、この中で皆さんは私にこういう疑問を持つかも知れません。「モニチエンダさんはそういうことをおっしゃいますが、貴方は何かやっているのでしょうか」と。私がやっていることは有馬老師がおっしゃった日本の高僧叡尊の足下にも及ぶものではないです。しかし私自身が行っているささやかな試みとして、僧侶達をトレーニングし、彼等を様々な社会活動に参加するように導いていることあります。その一例として、たとえば私の幼稚園では子供たちに仏教を教え、そして僧侶に食事を供養することを教えています。即ち幼い頃からの教育を通じて子供たちに仏教の教えを理解

するようになっています。そうした子供の家族に対して、なるべくお金を節約しなさい、そうして貯めなさい。そうすればその子供たちは将来的により高い教育を受けるようになり、すよ。といった形で家族にたいして貯蓄をすることを奨励しています。またたとえば、職業訓練といったことも行っていますし、先程申し上げました道徳倫理の開発といった観点からお金を節約する貯蓄をする指導もしております。

つぎに、私が入力しているものとして、道徳倫理の教育というものがあります。カンボジアに於きましては長い間戦争が続いた結果、殺しをするといったことや盗みをするといったことがごく当たり前のようになり、まるでそれが一つの習慣であるかのように扱われてしまっています。とりわけ十代の若い世代はそういった状況にあります。そういうことを改めるために私は英語学校を開設し、もちろんその学校はただなので、英語を教えると同時にモラル倫理に関して子供たちに教えています。

最後に皆さんに是非申し上げたいことが一点あります。開発というのは本当に難しい仕事だと思えます。

私が開発を始めた最初の2年間は人々から批判されました。なぜ僧侶がそんなことをしなければならぬのか。なぜ僧侶が社会の問題に関わるのか。そういう批判を受けました。ですが3年目からは人々の評価は変わりました。3年目からは多くの人々が私のやっている事業を見に来、お寺を訪れて私たちのやっている事業を評価してくれました。私たちが子供のためのプロジェクトをやっていると、その子供たちの態度や様子が変わるわけです。それを見て親は、何と子供たちは良くなったかと感動して私たちのプロジェクトを見に来てくれるのです。そういう形で最初は非常に困難だったわけですが、3年程やっていると私に対する評価は非常に好意的なものになりました。皆様申し上げたい事というのは、私が豊かになるためには、人々が豊かにならなければならぬ。人々が豊かになれば私自身も豊かになるということであり、どうしてもご静聴ありがとうございます。



石の石良

総合建設

商事部・石材部・設備部・土木建築部・造園部・企画部

永遠の眠り
ISHIRYO GROUP
力かなお墓で

株式会社 泉山石材

株式会社 泉山石材

〒031 八戸市是川坊坂1-2
TEL代表 (0178) 96-1414
FAX (0178) 96-5716

八巻石材工業株式会社

福島県伊達郡国見町大字小坂字町田2-8
TEL 0245 (85) 5315
FAX 0245 (85) 5431

有限会社 清水石材

岩手県花巻市円万寺字松林132
TEL 0198 (24) 6383
FAX 0198 (24) 4479

第19回東海管区曹洞宗青年会大会 曹洞宗愛知県第三宗務所青年会 設立20周年記念大会開催

師走、快晴の十二月三日(日)、半田福祉文化会館に於て「お葬式つてな一」が開催されました。

平成7年という1年間は、一月七日の阪神大震災、そしてオーム真理教の一連の事件、又詐欺まがいの宗教団体、高齢化社会における諸問題(尊厳死) パブル景気以後の就職難、宗教法人の見直し等々、益々我々宗侶の科せられた課題は大きいと思われまます。

そんな中で、相変わらず佛教教団は「葬式佛教」と言われ続けているのが現状です。もちろん在家の人々が「葬式佛教」と言っているときは、ほとんどの場合良くない意味で使用しているのは周知の事実です。これは葬儀の意味が、我々の説明不足により、在家の人々に正しく理解されていない為ではないでしょうか。

檀信徒の皆様にもお葬式を通じて、「死」と言う事について考えていただくために、又、それは「死

を見据えると共に、このかけがえのない「いのちの尊さ」に今一度気付いていただくために企画致しました。

当日は1300名収容の会場が一杯になり、会員一同心より感激すると共に実演にも熱が入りました。

第一部は青年会による葬儀の実演に関しては、我々素人が、台本から運営企画に至る全ての事柄を、手作りで致しましたので、時には話し合いが就かず議論が深夜にまでおよび、次の日寝不足の眼をこすりながら権務をしたことが思い起こされます。しかし、色々な諸問題がありましたが、なによりも会員一同心を合わせ同じ事柄に進捗することを通じ、「和合僧」を実感することが出来たのです。

第二部は奈良康明先生の十六浄戒についての講演会となり、大変わかりやすくお話しをしていただき、聴衆の人々も理解していただけた

た。
まだまだやりつくせなかつた事が多かったのですが、今後、培った様々な事柄を、宗門のためにフィードバック致します。

最後に、管内御寺院の御協力、御支援のたまものと新たにためて会員一同御礼申し上げます。

(曹洞宗愛知県第三宗務所「所報」第45号より)

ご住職とともに

曹洞宗 仏壇の宮川 (株)

私たちは人生の永遠の道標である仏教を、現代にマッチした表現とメディアによって多くの人々とわからあいたいと願います。

◆業務内容◆

各宗派布教用スライド、キャビンカセットSP1,000、16mm映画、ビデオカセットテープ、テレホン法話テープ、講師先生方ご紹介酒井大岳先生、ひろさちや先生、獅子てんや先生、玉川スミ先生、花まつりセット、お盆施本、正月用施品、仏書等販売。
オギノ芳信ネパールに美しき水と学校建設東北事務局

〒981 仙台市青葉区台原三丁目20の3号 佐藤栄重
TEL: (022) 273-5097
FAX: 272-5892

梅花流法具販売指定店
御寺院荘厳具・納骨堂設計施工

お仏壇一筋に80年、こころのやすらぎをおとどける

株式会社 **仏壇の宮川**

〒070 北海道旭川市2条通10丁目左8号
電話 (0166) 24-3353(代)
FAX (0166) 23-6110

全曹青花まつりキャンペーン

全曹青花まつりに神戸長田

開催の御案内

全国曹洞宗青年会の花まつりキャンペーンとして本年も昨年同様神戸市長田区菅原通りで四月六日土曜日に開催されることが地元の花まつり実行委員会と全曹青の話し合いのことで決定されました。

◎参加要項

本年の花まつりのテーマは、「地域(御蔵・菅原両地区)の活性化と震災遺児の支援と子どもたちのための花まつり」と題して、左記日程の通り開催致しますので全曹青の会員諸師の積極的な御参加をお願い申し上げます。

◎日程

四月五日(金曜日)

午後一時集合 兵庫区八王寺様
二時より各学校、集会所の訪問、地元の方々との茶話会等、終了後、八王寺様にて宿泊、寝袋、洗面具等持参でお願い申し上げます。

四月六日(土曜日)

午前八時より会場準備
十一時 白象八王寺様出発到着後
花火打ち上げ、法要「灌佛会法要」
「震災殉難者追善供養会」
了而、実行委員長、全曹青会長

等各挨拶。了而、花火打ち上げ。屋台、バザーの開始。

◎参加要項

午後二時
天草水軍太鼓演奏
たかはし ベンコンサート
終了後、切り花プレゼント
単位曹青を通じて申込みこと。何名でも結構です。御参加下さい。

宿泊は八王寺様をお願い致しますが寝袋等持参でお願い致します。また宿泊施設を他に確保してもよい。この場合連絡ができること。

◎バザー用品供出のお願い

旅費等の費用は各自負担とする。
震災遺児を支援という花まつりテーマのもと、先の日程にもありましたがバザーを開催し、売上げ金を阪神淡路大震災遺児育英基金として「あしなが育英会」に贈りたいと思っておりますので宜しくお願い致します。

◎バザー用品としては

法事等の粗供養品
砂糖・調味料・食用油・洗剤・

シャツ・毛布・食器類・タオル等の日用雑貨品等

◎送り先

〒653

神戸市長田区御蔵5の13の4
御菅地区花祭り
実行委員会事務局宛

電話〇七八一五七八一―二〇〇

三月二十五日より右電話開設し四月七日まで。

・送付受付期間
三月二十五日より四月三日まで
持込み可能

・当日の持込みは可能ですが整理の都合上早めに搬入をお願い致します

・バザーにする品物の準備及び整理は地元の婦人会で行います

・当日持込みの場合、整理は持込みの単位曹青でお願い致します。

◎その他

・屋台の売上げは地元へ、バザーの売上げは震災遺児支援としてあしなが育英会に寄付させていただきます。

※なお、この日程等詳細については只今、実行委員会と調整中です。

正式決定となり次第、各単位曹青にご通知致しますので宜しくご配慮ご協力のほど重ねてお願い申し上げます。

不明な点等ありましたら全曹青事務局までお願い致します。

— 木版・手摺の佛教書籍御経本 —

黄梨鉄眼版 大般若波羅密多經 全六百巻
同上両面摺三百巻仕立 (転読用堅牢黄紙製出版元)

はい よう
有限会社 貝葉書院

〒604 京都市中京区二条通木屋町西入
TEL (057)23-0919 振替 京都 01000-0-755
FAX (075)22-3582 振替 大阪 00930-3-1540

全国曹洞宗青年会第12期 会長選考について(公募)

会長選考委員会において、会則並びに細則に従って左記の事項が決定されました。

全国曹洞宗青年会第12期会長に立候補するものは、左記の要項に従い、立候補届けを完了してください。

全国曹洞宗青年会第12期会長選考委員会

委員長 村松宜雄

全国曹洞宗青年会 第12期会長選考委員会届出要項

- 一、立候補届出並びに履歴書の提出 (書式Aを参照)
- 二、立候補者の曹洞宗青年会における経歴書の提出 (書式Bを参照)
- 三、二十名以上の推薦者名簿の提出 (書式Cを参照)
- 四、立候補に当たっての執行方針の提出 (書式Dを参照)
- 五、立候補届出先 〒434 静岡県浜北市高園325 学園寺内 全国曹洞宗青年会

第12期会長選考委員会

委員長 村松宜雄

〒053158613886

- 六、立候補届出提出期限 平成8年2月29日(必着)
- 七、届出方法 必ず郵便書留にてお願い致します。

尚、1月22日付郵便にて各曹青評議員を通じて広報済。
選考委員の構成は下記の通りです。

- 委員長 村松 宜雄 (東海理事)
- 副委員長 木内 邦彦 (北海道理事)
- 委員 桜井 朝敦 (第11期会長)
- 委員 三吉 克英 (東北理事)
- 委員 北條 正典 (関東理事)
- 委員 真田 清史 (北信越理事)
- 委員 酒井 秀瑞 (近畿理事)
- 委員 原田 秀道 (中国理事)
- 委員 山本 悟由 (四国理事)
- 委員 藏山 大顕 (九州理事)

全国曹洞宗 青年会会則(抜粋)

第三章 役員

第九條 (役員の種類及び数)
本会に次の役員を置く。

- ① 会長 一名
- ② 副会長 三名
- ③ 理事 九名
- ④ 委員長 各一名
- ⑤ 事務局長 一名
- ⑥ 会計 一名
- ⑦ 監事 二名

第十條 (役員任期)

役員任期は二年とし、再任を妨げない。但し欠員が生じた場合は、前任者の残任期間とする。

第十一條 (役員資格及び選任)

一、本会の役員は第七條に定める正会員四十歳未満より選任する。但し、期間中は、正会員としての権利および義務を有する。
二、本会の役員選任は次のとおりとする。

- ① 会長は、別に定める細則に随って選任する。

- ② 副会長は、別に定める細則に随って選任する。
- ③ 理事は、各管区より一名選出する。
- ④ 委員長は、理事会で選任する。
- ⑤ 事務局長並びに会計は、会長が指名し、理事会並びに評議員会の承認を得る。
- ⑥ 監事は、理事会が推薦し、評議員会で選任し、総会においてその承認を行う。

第三号 会長副会長選出に関する細則

第一條 この細則は、本会の会則第十一條第二項に基づき、会長・副会長の選考に関する事項を規定する。

第二條 選考委員会は、管区理事および現会長をもって構成する。

第三條 選考委員長および副委員長各一名は、委員の互選による。

第四條 次期会長候補の選考の対象者は、選考委員会の推薦する者および選考委員会の推薦する者および選考委員会の定める立候補の届け出を期限までに完了した者とする。

第五條 次期会長の立候補の届け出は、二十名以上の正会員の推薦を付けて、初年度の二月一日より二月末日までに、選考委員長宛に届けるものとする。

第六條 立候補届け出の諸手続きは、選考委員会で別に定め、初年度の一月三十一日までに、これを公報する。

第七條 次期会長候補の選考は、第四條の定める候補者の中より、選考委員会で、責任をもって選考する。

第八條 第七條により選考した者を、次期会長予定者とする。

第九條 次期副会長の選考は、選考委員会と次期会長予定者と協議し、現会長の第二年度総会開会までに、責任をもって選考する。

第十條 第九條により選考した者を、次期副会長予定者とする。

第十一條 選考委員会は、選考した次期会長予定者および副会長予定者を、評議員会の決定を得て、第二年度の総会でその承認を行う。

創業120余年

仙台・国分町

正 佐 壇の 仙

仙台市青葉区国分町三丁目5-29 ☎(022) 261-3111代

日曜・祝日営業・夜6時まで営業・駐車場完備

仙台国分町

正 佐 壇の 仙

仲見世店

仙台市中央通り(クリスロード) ☎(022) 263-3929

